

自宅でできる運動療法

●不明な点は理学療法士にご相談下さい!

<運動を行う際の注意>

- ✓ 食前後30分は運動を控えましょう
- ✓ 無理せず体調の悪い時は休みましょう
- ✓ 運動は“ややきつい”と感じる程度にしましょう
- ✓ 息切れが強くなったら休憩し、呼吸を整えましょう
- ✓ 運動するときは口すぼめ呼吸や可能なら腹式呼吸をしましょう
- ✓ 動くときは息を止めず、息を吐きながら動きましょう

口すぼめ呼吸



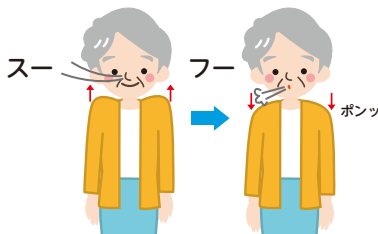
鼻から息を吸います。



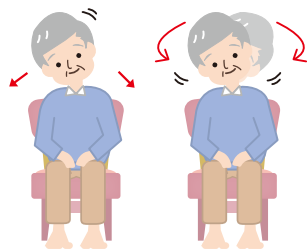
唇を軽くすぼめて、
口からゆっくりと吐き出します。

運動前の準備体操

首や肩、身体全体の緊張を落とすためにリラックスしましょう!



息を吸いながら肩をすぼめて、
ため息をつきながらポンッと
下ろす運動を3回繰り返します。

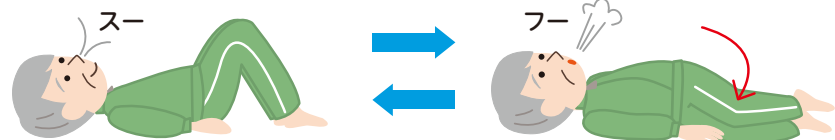


頭を左右に倒し、
まわす運動を2回繰り返します。

柔軟性トレーニング

身体の柔軟性を維持・改善する運動も行いましょう！
それぞれのストレッチは1回20秒で5回を目安に行いましょう！

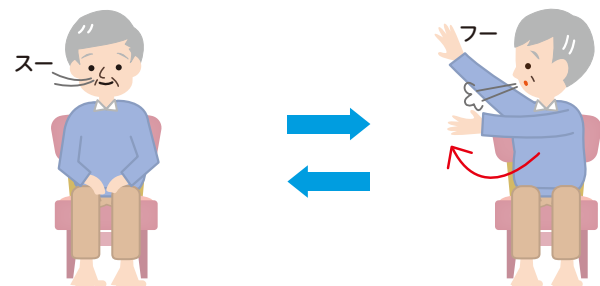
体幹、背部のストレッチ



両膝を立て、鼻から息を吸います。

息を吐きながら、
両膝を左右に倒します。

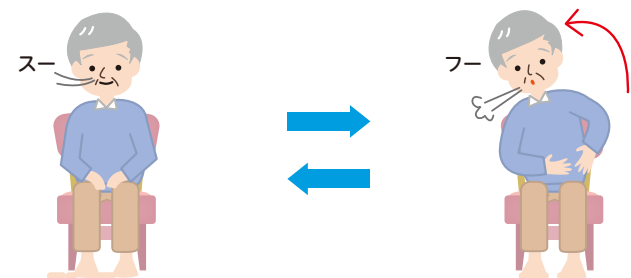
体幹のストレッチ①



鼻から息を吸い、
吐きながら身体を左右にひねります。

息を吐き終わるまでに戻します。

体幹のストレッチ②



鼻から息を吸い、
吐きながら身体を左右に倒します。

下肢の筋力トレーニング

- 10回を1セットとし2~3セットを目指しましょう
- 体調に合わせて1日2回行いましょう
- 運動は週3回程度を目指しましょう
- 必ず息を吐きながら力を入れましょう
- 痛みや疲労感を感じた場合はすぐに中止してください

ふともも上げ運動

息を吐きながらふとももを真上に上げて止めます。これを左右交互に繰り返します。



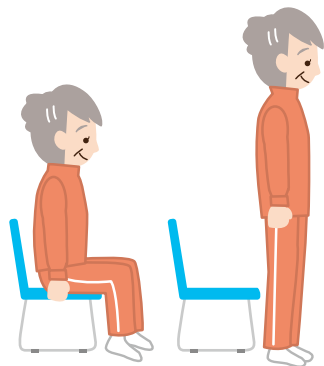
ひざのばし運動

息を吐きながらひざを真っ直ぐ伸ばして止めます。これを左右交互に繰り返します。



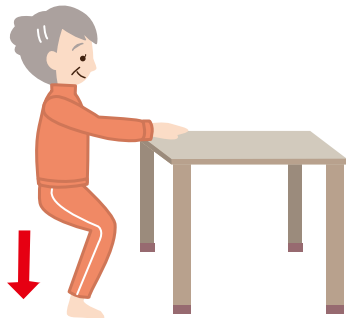
立ち上がり運動

足を少し手前に引き、おじぎをし、さらにゆっくりと息を吐きながら立ち上がり止まります。そしてまた息を吸った後、吐きながらゆっくりと椅子に座ることを繰り返します。



スクワット

ゆっくりと息を吐きながら膝を曲げて、伸ばすことを繰り返します。



かかとあげ運動

ゆっくりと息を吐きながらかかとを上げてつま先立ちになり、戻すことを繰り返します。



有酸素運動

- 準備体操を行った後、体調が良ければウォーキングを行きましょう
- 目標は**20分程度**ですが、最初から無理しないようにしてください
- 歩くペースにも気を付けましょう！
- “**ややきつい**”と感じる程度で十分です
- **週3回程度**と、できるだけ習慣化すると良いです



「13」を「息がはずむくらい」の運動とし、
運動中の自覚症状が「11,13」となるように
運動を実施しましょう！

自覚症状
20
19 非常にきつい
18
17 かなりきつい
16
15 きつい
14
13 ややきつい
12 楽である
11 非常に楽である
10
9 非常に楽である
8
7 非常に楽である
6

表：ボルグ指数

P5にあるような症状がある方は運動前に医師、理学療法士に相談してください。